

八代は熊本県内で最も広い面積を占め、海辺から山間部まで多岐に渡る自然を楽しめます。手付かずの自然が残る五家荘は、紅葉が秋の山を美しく彩り、多くの観光客で賑わいます。干拓の町でもある八代には、遠浅の海が広がり、西に沈む夕焼けはため息が出るほどの美しさ。冬には渡り鳥も多く飛来し、八代にしかいないと言われる驚も。是非、八代の絶景を楽しんで！

八代

大自然を楽しもう



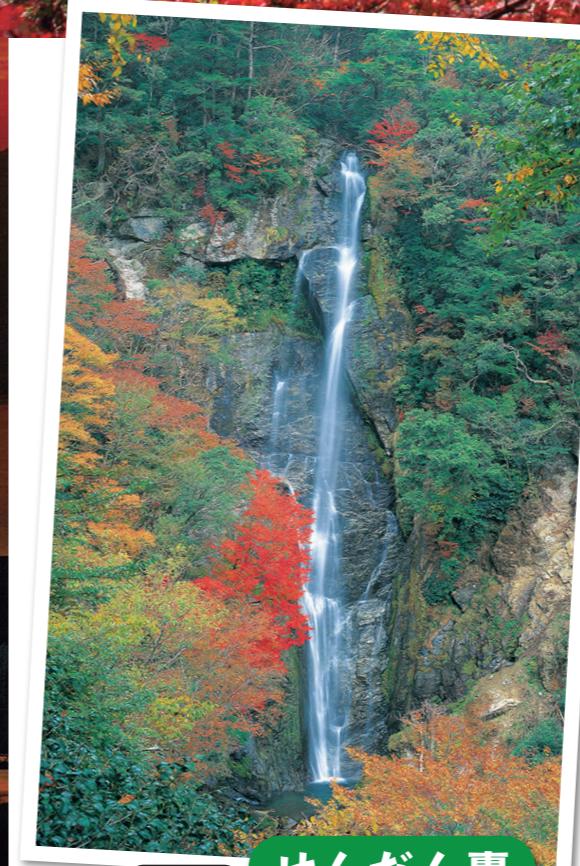
龍峰山自然公園

八代平野や八代海が一望できる龍峰山は市民の憩いの場、健康作りの場として親しまれています。5合目、8合目、山頂には広場が整備されており、特に5合目まではマイカーで上ることができます。駐車場やトイレもあります。八代平野が海まで一望できる場所です。



梅の木轟

秋の紅葉が見事な、五家荘は、平家の里と呼ばれ、ほぼ宮崎県との県境になる山間部。落差38mの滝「梅の木轟」は紅葉の時期には多くのカメラマンが訪れます。周辺は梅の木轟公園として整備され、長さ116mの吊橋がかかっています。



せんだん轟

日本の滝百選にも選ばれた、落差70m、幅3m以上の迫力の滝。こちらにも吊橋があり、夏休みや紅葉の時期には観光客で賑わいます。



「聞きし如まこと貴く奇しくも神さび居るかこれの水島」
(長田王 万葉集3-245収録)

水島は、球磨川河口の堤防から50mほど離れた所にある小さな島で、日本書紀の景行天皇18年4月の条に、「天皇がこの島で食事をなさうとした際、水が無かったので、小左(おひだり)という人物が天地の神々に祈ったところ冷水が湧き出たので、それを天皇に差し上げることができた。そのためこの島を水島と呼ぶ」という記述がある、歴史ある国の名勝です。

五家荘

九州の奥座敷。
呼ばれる大自然秘境と
中の秘境

水島